

# ゲノミック評価を活用した黒毛和種の24ヵ月齢出荷技術

枝肉重量、ロース芯面積、脂肪交雑等の枝肉形質のゲノミック評価成績が高い牛は24ヵ月齢で出荷しても高品質牛肉生産が可能であることを明らかにし、能力を十分発揮させる短期肥育技術指標を作成した。

## 背景・目的

ゲノミック評価を活用して高能力肥育素牛の計画生産を行い、能力特性を把握した上でその能力を最大限発揮する短期肥育目標体重および飼料給与量の指標を作成し、効率的肉牛経営を確立する。

表1 供試牛の概要(枝肉重量H評価およびA評価で区分)と肥育試験成績

区分	父×母	ゲノミック評価値【R2年12月評価】				出生時 体重 kg	8ヵ月齢 体重 kg	終了時 体重 kg	枝肉格付成績				備考
		枝肉 重量	ロース芯 面積	ばらの 厚さ	BMS				枝肉 重量 kg	ロース芯 面積 cm <sup>2</sup>	ばらの 厚さ cm	BMS No.	
H 評価	福之姫×A313	94.8 H	13.4 H	1.1 H	2.7 H	51	300	906	572	81	9.7	12	ばら:ズル カタ:シヨリ
	福之姫×A350	79.6 H	10.2 H	0.3 A	1.9 H	45	257	810	508	65	8.4	10	
	福之姫×A350	78.2 H	6.2 A	0.4 A	2.0 H	39	320	849	540	70	9.0	10	双子(大)
A 評価	愛之園×A313	34.0 A	5.3 A	0.5 H	1.9 H	37	294	803	510	74	10.3	11	
	福之姫×A350	31.7 A	1.9 B	0.0 B	1.1 A	27	256	723	457	73	7.5	11	双子(小)
	愛之園×A313	30.2 A	3.8 B	0.8 H	1.4 A	37	283	799	522	70	10.2	11	

## 成果

24ヵ月齢で出荷しても肉量・肉質とも良好な成績が得られる  
(枝肉重量500kg以上5頭、BMSNo.10以上6頭、日増体量は全頭1kg/日以上)

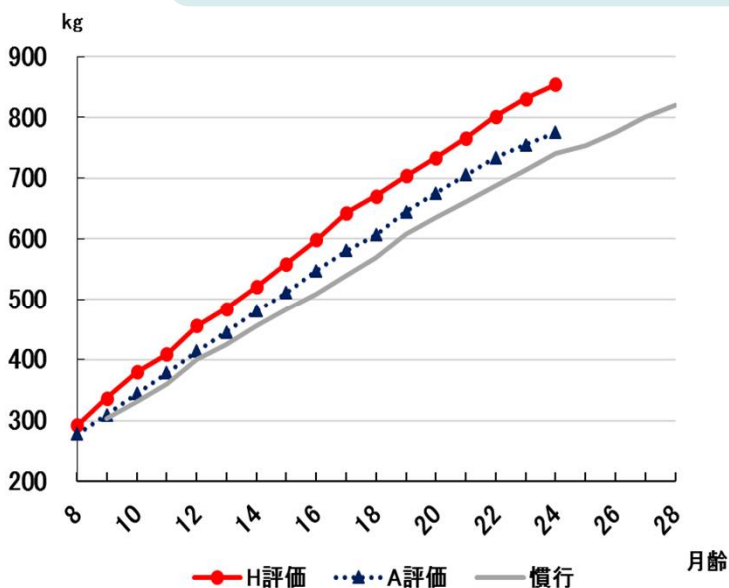


図1 短期肥育目標体重

※慣行は当场肥育試験成績から作成

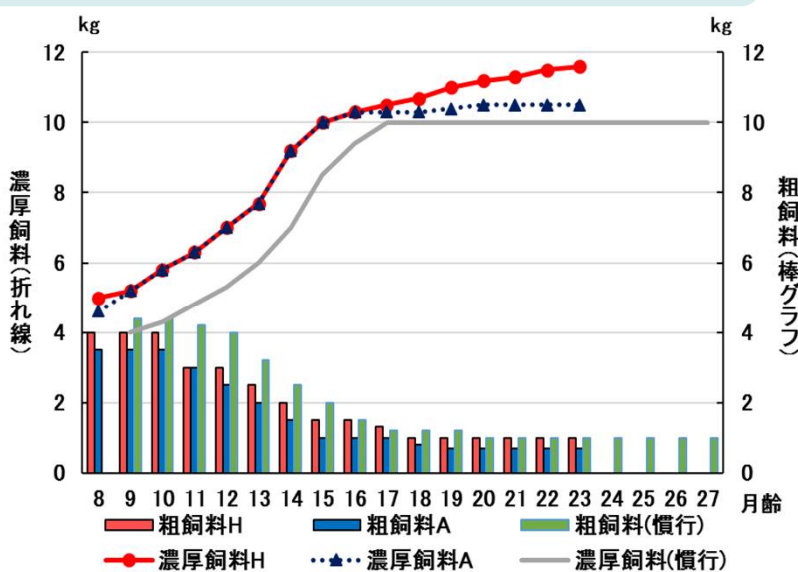


図2 短期肥育飼料給与量

## 留意事項

ゲノミック評価成績の高い牛は採食量が多く発育も良好であることから、ビタミンAの消耗が早く、ビタミンAの欠乏症や肝機能障害等に留意する必要がある。

本牛のゲノミック評価値が未判明の場合は両親の枝肉重量ゲノミック評価値を参考にした上で、出生時体重が約40kg以上の場合に利用する。



写真1 生体及び枝肉の写真  
(枝肉重量572kg, ロース芯面積81cm<sup>2</sup>, BMSNo.12)